

• 232: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 委員長、よろしくお願いいたします。

質問に入る前に今日うれしいことがあったので、少しエピソードを発表したいというふうに思っていますが、この予特でも市民局で町内会の担い手不足だったり、回覧板の案内という課題が出てきておりました。

そんな中で、私も単位町内会長を受けておまして、今日地元の小学生が環境問題の一環として新聞紙を折り紙のように仕立ててエコバックを作ってくれたんです。

その取組そのものもありがたいんですけども、その中の6年生が手書きで書いた文面が非常に心を打たれてありがたいと。学校行事に来てくださってありがとうございますと、地域のために活動してくれてありがとうございますというお手紙を頂いて、これはぜひこの場で披露したいということで冒頭発表させていただき、その手紙を頂いて元気をもらいました。勇気をもらいました。勇気100倍アンパンマンということで、障害者施策と子供未来局に関連して質問をしてまいりたいというふうに思います。

健康福祉費、障害理解の促進と権利擁護の推進2394万4000円の中身について順次伺います。

内訳の一つであります、障害者差別解消1862万6000円の内訳についてお示しをください。

• 233: ○障害企画課長

検索語: なし

○障害企画課長 障害のある方が講師となって団体や企業向けに障害理解研修を実施する障害理解サポーター養成事業に1030万3000円、障害福祉事業の紹介のためのSNS広告に125万4000円、障害のある方とない方の交流の場をつくるココロン・カフェに58万2000円、市内の学校などに出向き障害のある方と学生との交流の機会をつくるココロン・スクールに35万円、ヘルプマークの作成に27万3000円、さらに庁内の情報保障推進のための経費として219万5000円、そのほか障害理解のパンフレットの作成など普及啓発費用として366万9000円を計上しております。

• 234: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 内訳を示していただきました。

ヘルプマークの作成には27万3000円。市長もウェルフェアで直接配っていただいております。

あと、新たにというか、見慣れなかった項目として障害者福祉事業啓発のためのSNS広告125万4000円とありますが、ここについてもう一度詳細をお示してください。

• 235: ○障害企画課長

検索語: なし

○障害企画課長 特に若者にターゲットを絞った障害理解促進の新たな取組として、障害のある方が製作したふれあい製品の紹介や障害福祉サービス事業所で働く職員のインタビューなどの情報を、SNSを使い広告として発信する取組を行います。

若者に障害のある方や障害福祉の仕事の魅力、やりがいなどをスマートフォンを通じて手軽に知っていただけるよう工夫しながら進めてまいります。

• 236: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 課長はマスクをつけていただいておりますけれども、そういう事業者が作った中身でございます。

障害理解、その他の普及啓発で360万何がし円あるわけでございますけれども、障害理解は継続的に発信をしなければなりません。私も当選以来しつこくずっと聞いてきております。局を越えての取組は過去にもこの予特でR1グランプリ優勝者濱田祐太郎氏を例に挙げ、また、教育局にも所見を伺っております。

多様性、共生社会、差別解消法の下、本市でも条例を定めていて、条例の認知度を高めるためにも全局で横断的に対応しなければなりません。そこで、幅広い局を越えて新年度の取組として具体的な内容があるのか、どのようになっているのかを確認をしたいと思います。

• 237: ○市長

検索語: なし

○市長 本市は平成28年に障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例を制定をいたしまして、障害理解の促進、それから社会的障壁を除去するための、いわば合理的配慮というふうに言っておりますけれども、この合理的配慮を拡充、促進をすることなど、障害を理由とした差別の解消に向けての施策を実施する、それは

本市の責務であるというふうに定められたところでございます。

施策の企画立案、それから障害者雇用や、また就労支援、施設利用やイベントの参加の場面など、このことは市政全般にわたるものですから、全職員を対象に研修なども行ってまいります。各局区においてそれぞれ取組を進めてまいりました。

今年度にはパラリンピックも開催されます。これを契機といたしまして、絶好の機会と捉えて交流事業なども計画しておりますほか、学校教育におきましても毎年障害者のアスリートの皆様方をお招きして交流をするなど、心のバリアフリー推進事業を実施しているところでもございます。

また、アーチルと学校、保育所など、部局間の連携の取組の強化も図ってきたところでございます。

障害理解を深めていくためには委員御指摘のように継続して取り組んでいくということがとても重要であると私も認識をいたしております。障害者保健福祉計画に掲げました本市の取組について、引き続き障害当事者の方々のお声を聞きながら、障害者施策推進協議会での御議論もいただきながら、さらなる充実に努めてまいりたいと存じます。

#### • 238: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　市長と考えを一にして何よりだというふうに思っております。

今後、ワクチン接種に向けて案内文の発送だったり、まさしく障害者に対して合理的な配慮を行うようお願いをしたいというふうに思います。

また、御説明の中でもありましたが、本年オリンピック、オリンピックの後パラリンピック

が開催されるわけですが、本市も予算計上しておりますパラリンピックに向けた障害理解交流促進の531万8000円について内容をお示してください。

• 239: ○障害企画課長

検索語: なし

○障害企画課長 障害者スポーツ振興推進員の人員体制強化として361万3000円、パラリンピックスポーツ教室開催に59万円、障害者スポーツ体験イベントに31万5000円、障害者アスリート交流会に30万円、障害者スポーツPR動画作成に20万円、アスリートの講演会開催費用として30万円を計上しております。

• 240: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 ほとんどが三百万何がし円で人件費に割いている中で、交流会の開催30万円余がついております。先ほど市長の答弁の中では学校現場でもということはありませんけれども、こういった交流を行うのかということをお示しいただきたいと思います。

• 241: ○障害企画課長

検索語: なし

○障害企画課長 小学生や中学生向けに障害者アスリートから御自身の体験談を話してもらい、取り組んでいるスポーツと一緒に体験するような会を考えております。子供たちに障害理解が深まるような交流会となるよう、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて実施方法を

検討してまいりたいと考えております。

• 242: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　ぜひに効果的にタイミングを逃さぬよう発信、交流を進めていただきたいというふうに思います。

また、内訳の一つとして障害者スポーツ啓発動画作成業務委託20万円とあります。これは第29回仙台国際ハーフマラソン大会車いすの部のダイジェスト版として議会での提案を受け、手弁当で当局がピンポイントに人員を配置して、編集だけ業者をお願いをしたというふう

に伺っております。

手弁当で作っていただいたことには感謝を申し上げるところでございますが、大会をユーチューブで発信をして、当局が作成をする上で発信の仕方をどのように行っていたのか、また評価、そして、今年開催されるこのチャレンジレースの中身の課題はどのようなことを考えているのかお伺いしたいと思います。

• 243: ○障害企画課長

検索語: なし

○障害企画課長　新緑の仙台のレースの魅力が発信できる動画となっております、大会の紹介チラシにQRコードを掲載し、他の車椅子大会でも配布しております。当大会に参加されたことのない選手にも仙台のよさを感じていただけたのではないかと考えております。

次回大会に向けては、パラリンピックの開催に伴う機運の高まりを捉え、選手だけではな

く、より多くの方々に見ていただけるよう工夫を重ねてまいります。

• 244: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　ぜひに工夫を重ねて作成をよろしくお願ひしたいというふうに思います。

新年度のチャレンジレース、車いすの部、今年の開催はコロナ禍の状況でありながら22名の選手がエントリーしていただきました。誠に感謝を申し上げるところでございます。

一般の部では、今でこそ昨今のランニングブームでエントリーがあつという間に終わる状況でありますけれども、過去を遡れば参加をお願ひをして回っていたということも私も記憶に新しいところでもあります。

車椅子で参加する方々は全国から来ていただく方、レーサーとって非常に高価なもので、あれを輸送するのがやはり大変だというお声も伺っております。コースの関門もハードルなどもぜひ、スタート時間をみなしていただき開催をしていただいているというものは認識するものでありますけれども、全国から募集をするにおいて現在課題、そういったものがどのようになっているのかということをお示しいただきたいというふうに思います。

• 245: ○障害企画課長

検索語: なし

○障害企画課長　参加対象者の拡大、動画作成による魅力発信など、これまでも参加者増加に向けた取組を進めてまいりました。

また、大分国際マラソンなどの他の大会で仙台国際ハーフマラソンの魅力を伝えるチラシを

配布してきたほか、京都車いす駅伝では全国の選手一人一人に声をかけながらPRしてきておりますが、近年は参加者数は横ばいの状況となっております。

引き続き大会のPRを行うとともに、選手たちの声に耳を傾けながら効果的な方法を工夫してまいります。

#### • 246: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 過去直近、同日同コースを走るようになってから、参加者の一覧ももらいましたけれども、震災の後が一番多くて、これがやはり大会、30代、40代、50代と一斉に走るとすごく壮大で魅力的だというふうに思っておりますので、随時参加者を募るように、私も微力ながら毎年京都に行きながら、頭を下げながらお願いをしておりますので、共に頑張っていきましょう。

続いて、この項の最後になりますが、車椅子の部の開催は主催者や関係者の対応をはじめ、多くのボランティアに支えられ大会の開催に至っております。新年度は新型コロナウイルス感染症に負けず、今日までの課題解決に向けての大会開催の抱負を担当局長としての所見を伺いたいと思います。

#### • 247: ○健康福祉局長

検索語: なし

○健康福祉局長 新年度の仙台国際ハーフマラソン車いすの部でございますが、新しい生活様式への対応を踏まえて現在開催に向けて準備を進めているところでございます。中止や延期

を余儀なくされるという大会も多い中で、今後の車椅子マラソン、ひいては障害者スポーツの発展のため、参加を決めていただいた選手の皆様のお気持ちに応える大会としていかなければならないというふうに考えてございます。

また、この大会は多くのボランティアの御協力に支えられてきており、本当に感謝を申し上げますところですが、今後の障害者スポーツを支えていくためにもボランティア参加の裾野をさらに拡大していくということが必要だと考えております。

今回の大会において感染症対策を徹底をし、安全な大会運営を行っていく必要がございます。ソーシャルディスタンスの確保など、これまでになかった工夫も求められるところではございますが、大会関係者の皆様と力を合わせ、ぜひとも大会を成功させ、さらにその経験を発信していくということで障害者スポーツ全体を勇気づけることにもつながるというふうな認識の下、しっかりと準備を進めてまいりたいと存じます。

• 248: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　それでは、担当局におかれましては冒頭話したエピソードの母校、卒業者は健康福祉局にも多くいらっしゃいますので、敬意を払って次の項目に移りたいと思います。

子供、子育て政策について伺います。市長は施政方針の三つの柱の一つ、人のつながりが育む豊かな地域づくりとして、子供の遊び環境調査等に要する経費2337万8000円余に関連して順次伺ってまいります。

子育てに関する情報発信の充実890万円の内訳と概要をお示してください。

• 249: ○子育て応援プロジェクト推進担当課長

検索語: なし

○子育て応援プロジェクト推進担当課長 予算の概要といたしましては、今年度開発いたしました子育て情報を発信するアプリケーション及びポータルサイトの運営、改修を行うものでございまして、その内訳は運営費として198万円、機能拡充に伴う改修費等として約692万円となっております。

• 250: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 御説明をいただきましたが、去年のこの予算等審査特別委員会でも多くの質問がありました。アプリ開発において様々な議会や、そして関係者から伺って開発したというふうにご認識をしております。

今年度の予算500万円で作成を進めていただきました。決して高くない予算で取り組んでいただいたこと感謝を申し上げる次第でございますけれども、御苦労、そういった開発に至った経緯を改めて御説明をしていただければと思います。

• 251: ○子育て応援プロジェクト推進担当課長

検索語: なし

○子育て応援プロジェクト推進担当課長 今般のアプリ等の開発は公募により他都市における子育てアプリの開発実績のある事業者を選定し、進めてまいりました。機能や仕様の具体の検討に当たりましては、議会での御議論や子育て家庭へのアンケート結果などを参考としてお

ります。

また、計上している予算を効果的に活用するために、運用開始時はアンケートにおいてニーズが高かった子供連れでも出かけやすい施設情報や汎用性の高いイベントカレンダー機能などを優先的に盛り込むことといたしまして、新年度以降、利用者の声などを踏まえながら段階的に機能を拡充してまいりたいと考えております。

• 252: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 このアプリ、実は今日配信なわけでございます。私も先ほど議会の休憩でだーっと走ってアプリをダウンロードしたんですけども、App Storeだとなかなかまだできないみたいで、すぐホームページで見たらQRコードがあったので、それで広がればいいなというふうには思っております。

その中で、やはり昨年の議論の中でもダウンロード策が重要だという御指摘が同僚議員からありました。市政だより、母子健康手帳、いろいろ活用するところでございますけれども、今年度はLINEでも発信をしております。

広くダウンロードをしてもらうということと、何より必要としている方に適切に配信されるように求めるわけでございますが、その辺についての所見を伺いたしたいと思います。

• 253: ○子育て応援プロジェクト推進担当課長

検索語: なし

○子育て応援プロジェクト推進担当課長      アプリ等の周知は本日の運用開始に合わせてまして、本市のホームページへの掲載やスマートフォン利用者に直接届けることができるLINEやフェイスブック、またメール配信サービスによるプッシュ型の周知を行ったところでございます。あわせてまして市政だよりへの掲載や保育所やのびすく等の子育て家庭の利用が見込まれます施設でのリーフレットの配架などを予定してございます。

また、新年度には母子健康手帳と同時に交付している別冊の中にアプリ等の機能やダウンロード先を紹介する広告を掲載することとしておりまして、関係機関とも連携しながら様々な機会を捉え周知してまいります。

• 254: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員      事業者を選定する中で公募で選んで、今年度の890万円のうち198万円がランニングコスト、残りのお金が断続的に運用して変更に合わせてという予算計上かというふうに思います。

そこで、この情報アプリについて最後とさせていただきますが、まさしく今日運用になりましたけれども、担当局長としてこの情報アプリ、どのように活用されるのかを期待しているのかを御所見をお伺いしたいというふうに思います。

• 255: ○子供未来局長

検索語: なし

○子供未来局長　本日リリースとなりましたアプリ等の運用によりまして多岐にわたる子育ての関連情報を一元的に分かりやすく発信することが可能となり、子育て家庭の利便性が向上するものと考えております。

次年度以降も段階的に機能を拡充していく予定でございます。例えば地図情報におきまして保育所や公園などの行政の施設に加えて、子育て家庭の利用が見込まれる民間施設、こういった情報も発信をしていくこととしております。

また、のびすくなどで行われる子育て関連イベント情報の定期的な発信など、コンテンツや機能の充実を図りながら、子育て家庭がより利用しやすいものとなりますように取り組んでまいりたいと考えております。

• 256: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　担当課長におかれましては同じ子育て世代としてこの取組をしていただいたこと、繰り返しになりますが、今年度500万円の少ない中で本当にしっかりとしたアプリが立ち上がったというふうに思っておりますので、感謝を述べたいというふうに思います。

続いて、子どもの遊びの環境に関する調査・研究1447万円について伺います。

令和2年度、同じく子どもの遊び場の環境に関する調査・研究が行われました。この予算も500万円で行われておりましたけれども、どのような調査研究を行ったのかを確認をさせていただきます。

• 257: ○子育て応援プロジェクト推進担当課長

検索語: なし

○子育て応援プロジェクト推進担当課長 今年度、委託事業といたしまして本市を取り巻く子供の遊びの環境の現状などについて調査、研究を進めておりまして、本市や他都市の遊びの環境に関するハード、ソフト、両面についての事例調査や子育て家庭へのアンケート、また、子育て支援団体へのグループインタビューなどを行ってまいりました。

現在、アンケート結果の集計、分析などを行っている段階でございますので、今年度末までにこうした内容も盛り込んだ報告書として取りまとめられることとなっております。

• 258: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 現在取りまとめ中ということでございますので、取りまとまりましたらぜひに情報を教えていただければというふうに思います。

この新年度予算の中には都市公園等に一時的に遊具を設置するなどというふうにも記載があります。こういったものなのか。一般質問では高砂中央公園に建設局がこのぼよんぼよんというものをつけるという話でありましたけれども、そういうことなのか、それとも違うのであればどういうものをお伺いしたいとしたいと思います。

• 259: ○子育て応援プロジェクト推進担当課長

検索語: なし

○子育て応援プロジェクト推進担当課長 実証実験は今年度末に提出されます調査報告を踏まえまして、都市公園等におきまして屋外や屋内、また実施する時期などの条件を変えまして子供の遊び場を一時的に設置運営することを想定しておりまして、利用者の声などを伺いながら、その効果や課題などについて分析してまいりたいと考えてございます。

• 260: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 何か答弁の中で屋外や屋内というふうに、何か取ってつけたような屋内というものが入ってきていまして、この文言を見れば必ず屋外なのかなというふうに思っております。屋内の取組に特化したものは何かあるんですか。確認をさせていただきます。

• 261: ○子育て応援プロジェクト推進担当課長

検索語: なし

○子育て応援プロジェクト推進担当課長 実証実験では様々な条件の下での実施を予定しておりまして、公園等における屋外のほか、市有施設等における屋内での実施も想定しているところでございます。

• 262: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 屋外、屋内問わずやるということかというふうに認識をしましたがけれども、私はこの2期目当選させていただいてから地域の方々、また支援者の方々、そして子育て

世代の方々からやはり屋内で元気に遊べる場所をつくってくれと。また、幼稚園関係者からすると、天候に左右されない遠足で行けるようなところをつくってほしいという要望も、市長も伺っているかというふうに思います。

新年度予算、予算拡充をして今回計上しているわけですから、市長としてこの屋内施設について整備が前向きに進むという決意でいいのか確認をさせていただきます。

• 263: ○市長

検索語: なし

○市長 子供たちが体を伸び伸びと動かして、そして、様々な経験を重ねながら育つということは、豊かな育ち、健やかな育ちの上でとても重要だと考えております。また、これまでの議会での御議論や、それからアンケート調査でも新たな遊びの環境を求める声が多いということも認識をしているところでございます。

その一方で、遊び場の新設につきましてはコスト面など様々な検討課題もございます。今年度の調査報告や新年度の実証実験の結果等を踏まえながら、本市にふさわしい遊びの環境の在り方について、市民活力の活用や、それからまた既存施設の有効活用などの手法も含めまして、幅広く検討してまいりたいと存じます。

• 264: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 幅広く検討するということでございます。本市はいろいろな箱物事業を考えているところで、しっかり優先順位をつけて対応していただきたいというふうに思います。

最後になりますけれども、私の子育て施策の質疑が嫌いでも未来の子供たちのために政策は進めるということをお願いを申し上げ、私の質疑に代えさせていただきます。